



中 又 島 文 楽

第1部

文楽ヒギナーに贈る文楽入門トーク

文楽ってナンダ?
おもひろ文楽のスヌメ

10月5日(土)

司会



添田 尚子

ゲスト



三倉 佳奈

10月4日(金)

司会



桂 吉坊

ゲスト



遙 洋子

第2部

文楽上演 ※字幕スリーパーあり

心中天網島 北新地廻庄の縁
近松門左衛門作

主な出演者



竹本 織太夫



鶴澤 藤蔵



吉田 玉男



●内容、出演等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
終演後は、演目に登場した人形が舞台上に勢揃い。
客席からの写真撮影時間をご用意いたします。

10/4金.5土
●10月4日(金)
開場18時、開演19時[終演予定21時]
●10月5日(土)
開場13時、開演14時[終演予定16時]

詳しくはこちらに
アクセス!



MUMU!!文楽シリーズ
特設サイト

<http://www.mumumu-bunraku.jp>

駅構内及び車内での携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

大阪
文化
芸術
FES





中之島文楽

週末に気軽に楽しめて、お財布にやさしい

文楽 超入門編

大阪生まれの古典芸能・文楽を観たことはありますか？
 文楽は長くて難しそう…、そんなイメージを持ったまま、ぜひご来場ください。
 文楽ビギナーのゲストを迎えながら分かりやすく文楽をご紹介するトークの後に、
 偉大な劇作家と謳われる近松門左衛門の名作を上演。
 心中まで約束した遊女に裏切られたと思ひ込み、我を忘れて荒れ狂う男の悲しい姿。
 そしてその男に、罵倒され、掴みかかれ、頬を叩かれても、じっと耐える遊女の姿。
 すれ違う思いのやりとりを、どうぞお楽しみくださいませ。



第一部

◆文楽ビギナーに贈る 文楽入門トーク

10月4日(金) 司会=桂 吉坊 ゲスト=遙 洋子 10月5日(土) 司会=添田 尚子 ゲスト=三倉 佳奈

文楽ってナンダ？ おもしろ文楽のススメ

第二部

◆文楽上演 ※字幕スーパーあり

主な出演者 たけもと おり た ゆう つるざわ とうぞう よしだ たまお
 竹本 織太夫(太夫) / 鶴澤 藤蔵(三味線) / 吉田 玉男(人形) ほか

心中天網島 北新地河庄の段

近松門左衛門 作

大坂天満で紙屋を営む治兵衛は、遊女・小春と三年にわたる関係を続けていました。しかし小春には、江戸家太兵衛からの身請け話が出ています。やがて離れ離れになるかもしれない治兵衛と小春は、密かに心中の約束を交わしていました。

そんなある日のこと、小春のいる北新地の茶屋「河庄」に、見知らぬ侍がやって来ます。侍は小春から心中の覚悟を聞いて、「治兵衛と別れてはどうか」と持ちかけます。小春は胸の内をそっと打ち明けます。「本当は、心中を約束してしまったことを後悔しています。できれば死なずにおきたいので、力を貸してください」と。

運悪く、その話を治兵衛が立ち聞きしていました。激怒した治兵衛は小春に向けて格子越しに刀を差し込みますが、侍に取り押さえられて失敗。実はこの侍、治兵衛の兄・粉屋孫右衛門の変装で、二人を心配して様子を探りに来ていたのです。

小春の裏切りを知り、すっかり愛が冷めてしまった治兵衛。小春に渡していた愛の証である起請文を、孫右衛門に取り返してもらいます。嫌がる小春の懐へと手を差し込み、起請文を抜き取る孫右衛門。しかしそこから出てきたのは、治兵衛の女房・おさんからの手紙でした。

心中天網島 ひとくちメモ

この演目は、享保5年(1720年)10月に起った実際の心中事件を元に書き下ろされたものだと伝わります。場所は大阪の網島(あみじま)にある、大長寺。今の大阪でいうと、都島区中野町あたりになります。大長寺は現在も、当時から約500mほど北に現存しています。

チケット情報 料金(税込)：全席指定

大人(高校生以上) 前売券1,800円 当日券2,000円
 小人(小・中学生) 前売券 800円 当日券1,000円
 ※未就学児(小学生未満)は入場をお断りいたします。

【チケットぴあ】電話番号 0570-02-9999 (Pコード:496-398)
 【ローソンチケット】電話番号 0570-084-005 (Lコード:52037)
 【イープラス】http://eplus.jp
 【CNプレイガイド】電話番号 0570-08-9999

会場アクセス

大阪市中央公会堂
 〒530-0005 大阪市北区中之島一丁目1番27号
 ■ Osaka Metro 御堂筋線・京阪電車京阪本線
 【淀屋橋】駅下車 1号出口
 ■ 京阪電車中之島線【なにわ橋】駅下車 1番出口

お問い合わせ
 キョードーインフォメーション 電話番号 0570-200-888

